

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ネコソギクイックプロFL
会社名	レインボー薬品株式会社
住所	東京都台東区上野1-19-10
担当部門	企画開発部
電話番号	03-6740-7777
FAX番号	03-6740-7000
用途及び使用上の制限	除草剤、農薬登録以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル	健康有害性 環境
注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能または胎児への影響の恐れ 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に毒性
注意書き	
予防策	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 使用前に取り扱い説明書を入手すること。 環境への放出を避けること。
対応	暴露またはその懸念がある場合、医師の診断を受けること。
保管	換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、 子供の手の届かないところに保管する。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理 業者に業務委託すること。
その他の危険有害性	特に無し。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

有効成分化学名

(一般名)

- ① イソプロピルアンモニウム=N-(ホスホメチル)グリホサート
(グリホサートイソプロピルアミン塩)
- ② エチル=2-クロロ-5-(4-クロロ-5-ジフルオロメトキシ-1-メチルピラゾール-3-イル)-4-フルオロフェニキシアセート
(ピラフルフェンエチル)

成分	含有量(%)	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
グリホサートイソプロピルアミン塩	30.0	(2)-3067	—	1071-83-6
ピラフルフェンエチル	0.16	—	8-(2)-1755	129630-19-9
<その他>				
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	5.6	(7)-97	—	68131-40-8
エチレングリコール	0.75	(2)-230	(2)-230	107-21-1
水、界面活性剤等	残部	—	—	—

SDS制度対象物質	含有量(%)	CAS番号	PRTR法	安衛法通知対象	毒劇法
グリホサートイソプロピルアミン塩	30.0	1071-83-6	非該当	非該当	非該当
ピラフルフェンエチル	0.16	129630-19-9	非該当	非該当	非該当
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	5.6	68131-40-8	1種407	非該当	非該当
エチレングリコール	0.75	107-21-1	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診療を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診療を受ける。
吸入した場合	被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。
飲み込んだ場合	口の中をすすぎ、カップ1～2杯の水を飲ませる。直ちに医師の診療を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末、泡沫、炭酸ガス、水
使ってはならない消火剤	情報なし
消火時の注意	消火活動には適切な保護具（自給式空気呼吸器等）を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具（保護衣、保護メガネ、保護マスク等）を着用して、眼や皮膚に触れたり、液滴やガスを吸い込まないようにする。
環境に対する注意事項	漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境に影響を与えないように措置する。
除去方法	漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、液滴を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、速やかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管

保管条件

換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具

状況に応じた適切な保護具を着用する。

保護マスク、保護メガネ、保護衣（長袖・長ズボン）、ゴム手袋

9. 物理的及び化学的性質

外観等	物理的状态	類白色水和性粘稠懸濁液体
pH		4.0~6.5（1%水懸濁液）
密度および比重		1.13±0.02/25℃
引火点		引火性無し
自然発火性		常温の空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
危険な反応	知られていない。
危険有害な分解生成物	知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	経口（ラット）LD ₅₀ ：♂♀ >5,000mg/kg 経皮（ラット）LD ₅₀ ：♂♀ >2,000mg/kg（死亡例及び中毒症状なし）
刺激性	眼刺激性（ウサギ）：軽度。刺激性反応は48時間以内に消失。 皮膚刺激性（ウサギ）：軽度。刺激性反応は72時間以内に消失。
感作性	皮膚感作性（モルモット）：陰性
生殖毒性	区分1Bに分類されるエチレングリコールと他の成分をカットオフ値の0.1%以上含有することから、区分1Bとした。 毒性未知成分量は68.1%。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性） 区分 2

コイ	LC ₅₀ /96hr	: 11.0 mg/L
オオミジンコ	EC ₅₀ /48hr	: 2.21 mg/L
緑藻	EbC ₅₀ /0-72hr	: 0.721 mg/L
	ErC ₅₀ /24-72hr	: 1.28 mg/L

水生環境有害性（慢性） 区分 2

急性区分が2で、急速分解性及び生物蓄積性が不明であることから慢性区分2とした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託して適切に処理する。

空容器・包装

内容物を使い切った後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

1 4. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件

容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積載する。

1 5. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第21593号

PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進に関する法律）

ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C12~15)：

第1種 政令番号407

労働安全衛生法

エチレングリコール：名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
2016年6月1日 から(改正法施行後から) 含有量が1%未満のため非該当

1 6. その他の情報

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また、ヒトに対する危険、有害性の評価は必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払ってください。